



苦しい体験が子どもたちを成長させた 「どつぶい汗かき歩こう会」

枕崎青年会議所主催による「どつぶい汗かき歩こう会」が11月25日に開催され、市内の小学校6年生まで52名のほか、引率者の同会議所メンバーが参加し、引率者の26名が28・1km歩行に挑みました。25日の夕暮れ時、市役所の駐車場で出発式が行われ、場村恭弘団長が「自分に負けないように、みんなで助け合って歩いてください」と子どもたちを激励。JRに乗り込み出発地である指宿市の枚闇神社へ向かいました。

参加者たちは7班に分かれて元気に出発。最初は足取りも軽く、休憩を挟みながら楽しそうに歩いていましたが、時間が経つにつれ、疲れや眠気が子どもたちを襲い、次第に苦しい表情へと変わっていました。また、知覧町を通過中の深夜3時過ぎには冷たい雨も降り出し、残り半分ほど道のりが更に険しいものになりました。しかし、子どもたちの互いの手を引きながら励まし合つて、ついに26日の午前6時ごろ、脱落する子もなく全員一緒に蛭子神社に到着しました。

子どもたちは疲れた表情を見せながらも、一晩中歩き通した達成感満足気な表情を見せ、一回り成長しでな



立神小・中学校

立神小・中学校では、平成17年度から職員相互の連携を深め、児童生徒の健全育成を図るために、年に2回、合同研修会を行っています。11月27日は、通算4回目となる研修会を立神小学校で行いました。

今回は、小学校の授業に中学校の先生が参加し、チーム・ティーチングで授業を進める内容を3つ実施しました。6年国語科における中学校の先生の講話の設定、3年国工における作品の評価、1年音楽におけるバイオリンの演奏の実施です。そして、授業参観の後は、学力向上と生徒指導の充実について、全員で意見交換を行いました。今後も、9年間で立神の子供たちを育てていくことを再確認することができました。

別府小・中学校

別府小学校と別府中学校では、11月14日に「小中連携」研究公開を開催し、地区内外からの学校関係者や、保護者や地域の方、約130人余りの参加がありました。

「自ら考え、判断し、生き生きと課題解決ができる児童生徒の育成」をテーマとして、平成17・18年度の2年間にわたる研究・実践の成果を発表。研究授業では、小6の英語活動を担任と中学校の英語担当が一緒にを行い、また、中2の国語に小学校の教師が入る授業を行い、児童生徒は目を輝かせ学習活動を行いました。

別府の子どもたちに、9年間にわたる地域ぐるみで一貫した教育活動を行うための土台となる研究・実践になりました。

額に汗してサツマイモを収穫

～立神小学校が芋掘りの体験授業

立神小の全校児童が11月7・8日、サツマイモの収穫を行いました。同小学校では、約8haの学習農園でサツマイモの栽培をしており、竹の棒を使った苗の植え付けに始まり、夏休中の暑い中での除草作業を行っています。

7日は1・2年生106名が芋掘りを実施。土に埋まつた芋を初めて見る児童も多く、悪戦苦闘の様子でしたが、額に汗して芋を掘り終えた時の笑顔に子どもたちのたくましさを感じました。浜田勝也教頭は「マルチかけや耕耘、肥料を提供してくださった方々をはじめ、子どもたちの笑顔をつくり出してくださった地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです」と語っていました。



子どもたちを不審者から守れ

～別府校区のPTAが地域に防犯看板を設置

別府校区の保育園、小・中学校のPTAが11月19日、48基の防犯看板を作成し通学路などに設置しました。

これは、近年、全国で子どもたちが犠牲になる痛ましい事件が頻発していることから、校区の子どもたちを守ろうと別府小の保護者でつくる「あやじの会」が中心となり行われたものです。

この手づくりの看板には、「防犯パトロール実施中」と書かれているほか、小・中学生がつくった防犯を呼びかける標語などが書かれています。

「あやじの会」は、今年2月に防犯パトロール隊を結成し、子どもたちの下校時刻に見回りを行うなど、防犯に積極的に取り組んでいます。



2つの21世紀版新記録が誕生！

～小学校陸上記録会

小学校陸上記録会が10月20日、総合グラウンドで開催され、2001年度から始まった21世紀版大会記録の2種目で新記録が生まれました。記録は次のとあります。

■新記録

【6年女子60m障害走】10秒93 立石梨乃（桜山小）
【5年女子800m走】2分49秒 上村麻夢（桜山小）

■タイ記録

【5年女子400mリレー】1分4秒41（桜山小）石村愛香、二宮梨奈、上村麻夢、下唐湊恵美利